

平成23年度最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動の選定結果について

平成23年8月25日

最先端研究開発支援プログラム担当室

1. 8月25日に開催した最先端研究開発支援推進会議において、平成23年度最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動及び助成額を別紙の通り、決定した。

平成23年度 最先端研究開発支援プログラムの公開活動の対象となる活動及び助成額

別紙

1. 国際シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	助成額
国立大学法人東北大学	第2回集積化マイクロシステム国際シンポジウム	江刺 正喜	「マイクロマシンを産業に結び付けるアプローチとそのためのラボ、ファンドリー運営」に関する招聘講演及びパネルディスカッションを行い、その結果を本研究課題の実施に反映させることにより、研究開発の実効性及び効率性の向上を図る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	7,979 千円
国立大学法人東北大学	第2回「スピントロニクススペース集積システム」CSIS国際シンポジウム	大野 英男	本研究課題の内容・成果を世界に向けて発信し、スピントロニクス技術の海外トップレベルの研究者の招聘講演を行うとともに招聘研究者及び技術諮問委員との包括的な議論を行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	3,517千円
国立大学法人東京大学	第1回フォトンクスとエレクトロニクスの融合国際シンポジウム	荒川 泰彦	フォトンクスとエレクトロニクスの融合にフォーカスした内容を議論するという初の試みであり、大学や国家研究機関を代表するサイエンス志向の研究者と実証志向の企業研究者を一同に会し、フォトンクスとエレクトロニクスの融合のあるべき姿について発表・議論を行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	5,941 千円
国立大学法人東京大学	「ダークエネルギー」シンポジウム及び第2回国際共同研究参加機関代表者会議	村山 斉	国際共同開発研究に準拠した本研究内容を、国際パートナー間で集中討議して合意するとともに、より広い天文・物理分野で世界的権威のある研究者も招聘して意見交換をし、あわせてダークマター・ダークエネルギーの解明がもたらす新しい宇宙観を広く市民に発信する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	15,190 千円
国立大学法人東京大学	第三回超小型衛星シンポジウム	中須賀 真一	超小型衛星にテーマを絞った国際シンポジウムを日本で開催することにより、日本の強みである超小型衛星の技術力を高めるとともに認知度を向上させ、本分野において日本の優位性を確立する。超小型衛星市場開拓においてキーパーソンとなる海外の研究者や企業代表者を招聘し様々なアプローチに関して包括的な意見交換を行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	9,930 千円
国立大学法人筑波大学	行動神経科学の最前線	柳沢 正史	睡眠研究、サーカディアンリズム、神経間コミュニケーションの第一線の海外研究者を招聘し、講演・パネルディスカッションを実施し、当該分野の今後の発展展開、喫緊の課題の社会への応用・還元等議論をする。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	16,321 千円
国立大学法人名古屋大学	革新的ナノバイオデバイスに関する最先端研究開発国際シンポジウム	川合 知二	DNA1分子解析技術の医療応用・国際標準化・医療機器承認に関する最先端の研究発表と海外トップ研究者との討論・意見交換を行うことで、プロジェクト成果の社会還元を加速する。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	7,697 千円
国立大学法人京都大学	iPS細胞の標準化と再生医療	山中 伸弥	iPS細胞の作製や細胞の初期化等の研究を行っている研究者を海外から3名招聘し、講演と共に、パネルディスカッションを設けてiPS細胞の標準化についてiPS細胞研究所(GIRA)の研究者とともに議論を行う。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	4,002 千円
国立大学法人九州大学	九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究棟開所記念「OPERA国際シンポジウム」	安達 千波矢	中心研究者から最先端材料についてこれまで得られた最新の知見、目標達成のための展開方法を解説するとともに、有機エレクトロニクス分野における世界的に著名な研究者を招聘し、研究討論を行い、研究成果の発信並びに課題の実効性の向上と方向性の再確認を図る。	独立行政法人日本学術振興会による交付内定の日から平成24年3月31日まで	3,330千円

独立行政法人理化学研究所	幹細胞からみた神経発生	岡野 栄之	専門性に特化し、本課題の特徴でもあるモデル動物作成と神経発生に関して、幹細胞から考察する技術的な側面に焦点を当て、ノーベル賞級の講演者の招聘し、幹細胞分野全体の発展性や応用の可能性を議論する。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 24年3月31日まで	13,430 千円
独立行政法人理化学研究所	強相関量子科学に関するワークショップ	十倉 好紀	強相関量子科学におけるこれまでの全研究成果の国内外の発信と、世界の第一線で活躍されている著名な研究者と本グループメンバーとの研究交流による研究課題の一層の推進を図る。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 24年3月31日まで	11,548 千円
独立行政法人産業技術総合研究所	革新的ナノテクノロジー及びシステムに関する国際シンポジウム	木本 恒暢 横山 直樹	2人の中心研究者による研究成果と研究マネジメント方向を中心に、ナノテクノロジーに関する海外・中心研究者を招聘し、技術に関する深い討論を実施し、得られた技術的知見、マネジメント的知見を今後の課題運営に反映し、課題の実効性や効率性を向上させる。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 24年3月31日まで	17,251 千円
学校法人慶応義塾	第1回先端フォトニックポリマー国際会議	小池 康博	フォトニクス分野のもう一つのプロジェクト「戦略的イノベーション創出推進プログラム」と共同で開催することにより相乗効果を高め、世界を代表するフォトニクス分野の研究者が一堂に会する場で、日本から生まれたオリジナルな技術に支えられたフォトニクスポリマー技術の発展を図る。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 24年3月31日まで	12,995 千円
株式会社コンベンションリンケージ	第2回分子追跡放射線治療国際会議	白土 博樹	本課題が目標とする革新的治療法の開発によるがん治療率の向上に関する講演及び研究成果の報告等を行い、研究情報の発信や知識の交換を図り、議論の結果を研究課題の実施に活用することにより、研究開発の実効性や効率性の向上を図る。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 24年3月31日まで	18,261 千円

2. 一般シンポジウム

実施機関名	シンポジウム名等	対象中心研究者	シンポジウムの概要	補助事業期間	助成額
独立行政法人科学技術振興機構	FIRSTサイエンスフォーラム 第二シリーズ	30名全員	日本を代表するトップ30名の科学者が直接青少年に語りかけ、青少年からも疑問や質問を投げかけてもらうなど、双方向コミュニケーションを行うことにより、「科学によって明るい日本の未来を切り拓く」気概を持つ若者を育む。	独立行政法人日本学術振興会 による交付内定の日から平成 24年3月31日まで	46,357 千円